

学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

<勉強すること>

◆「こまを楽しむ」（教科書50～55 ページ）について、ノートや取組シートにとりくみます。前回の課題では、「問い」にたいする「答え」を「中」から見つける学習をしました。

- ①「おわり」には、「中」で書かれていた6つのこまについてまとめています。それぞれのこまに共通しているところ、ちがうところをまとめましょう。

【まとめ方の例】

日本には、さまざまなしゅるいのこまがあります。それぞれ色も形もちがいますが、（ア _____）というつくりは同じです。
人々は、このつくりにくふうをくわえ、（イ _____）や（ウ _____）でさまざまな楽しみ方のできるこまをたくさん生み出してきたのです。

- ②【まとめ方の例】のイについてせつめいしている段落は何段落から何段落ですか。また、ウについてせつめいしている段落は何段落から何段落ですか。
- ③「こまを楽しむ」に出てきた6つのこまの中から、あなたがいちばん遊んでみたいものをえらび、理由も書きましょう。

【書き方の例】

ぼくは、色がわりごまで遊びたいと思いました。
このこまは、回っている時の色を楽しむことができるこまです。
回るはやさで、どういうふうにかがかわるのかを見てみたいと思いました。

◆63 ページで学習する新出漢字（運～住まで）をノートに練習します。

例：①154 ページを見て、書き順を指で書いてみましょう。

②読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。

③漢字をノートに書きましょう。

④出てきた漢字を使って、文を作りましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・②については、前回整理した問いと答えの表を参考にしてみてください。
- ・③の問題は、ぜひ保護者の方も選び、感想を伝え合ってみてください。「次は私が言うから、似ている所と違う所を教えてね。」などと尋ねることで、比べて聞くことにつながります。



【社会】

＜勉強すること＞ べんきょう ことば(きょうかしよP12)

◆「市の公共しせつ」こうきょう（教科書26～27ページ）きょうかしよ や地図帳ちずちよう、学校で使っているしりょうなどをさんこうに、札幌市の公共しせつこうきょうについて白地図やノートやとりくみシートにまとめましょう。

(1) 次の公共しせつは何区にあるか、ノートやとりくみシートに書こう。

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| ①札幌ドーム | ②円山動物園 <small>まるやま</small> |
| ③青少年科学館 <small>せいしょうねんかがくかん</small> | ④サッポロさとらんど |

(2) 自分が住んでいる区にある公共しせつを調べて、3つ以上、ノートやとりくみシートに書こう。

※例えば本を借りたり、運動したりする場所など、みんなのためにつくられたたて物や場所を探してみよう。

(3) つぎの公共しせつは、どのようなはたらきをしていますか。

※だれがどのような時に利用りようするか考えてみましょう。

- | | |
|------------------|-------------------------------------|
| ①札幌コンサートホール（キタラ） | ②青少年科学館 <small>せいしょうねんかがくかん</small> |
|------------------|-------------------------------------|

(4) 公共しせつの一つである市役所しやくしょについての説明だよ。下の（ ）にことばを入れよう。

ことば(きょうかしよP26)

※教科書の26～27ページで調べてみよう。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・市役所では、たとえば、市民のけんこうや子育てなど（ ）にかかわることや市の（ ）やさんぎょうなど市全体 <small>ぜんたい</small> にかかわるさまざまなことをあつかっています。 |
| ・さいがいのときの（ ）場所も知らせています。 |

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・行ったことのある公共施設を一緒に探したり、その公共施設の役割を尋ねたりすると、公共施設の場所や役割に対する理解が深まります。

【算数】

<学習内容>◆「たし算とひき算」①（教科書34ページから37ページまで）

牛にゆうパックを集めてリサイクルをするよ。

リサイクルの目ひょう！！

◎青空子ども会 300まい

◎どんぐり子ども会 200まい

みんなで協力してがんばりましょう！

2つの子ども会の目ひょうの合計はいくつかな？

式 =

答え



ひろさん ぼくは27まい集めた！

わたしは36まい集めた！



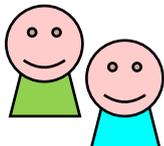
ひろさんとあやさんが集めた数の合計はいくつかな？

※「合計」はあわせた数のことだよ。何算になるかな？

式 =

答え

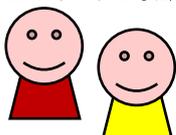
青空子ども会



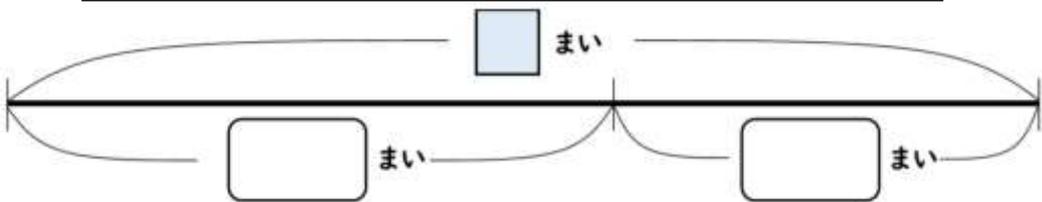
ぼくたちは318まい集めた！

わたしたちは225まい集めた！

どんぐり子ども会



牛乳パックを、青空子ども会では318まい、どんぐり子ども会では225まい集めました。あわせて何まい集めたでしょうか。



に入る数を書いて、式を立てよう。

式

答えは、だいたいいくつくらいだと思う？



あれ？3けたのたし算は、どのように計算したらいいのかな？

318 + 225がいくつになるのかを考えよう。

数を分けて考えてみよう。

318 + 225

300 18

いくつかな？

300
+ 200

+

225を手本にして、318は自分でかいてみよう

百	+	-
3	1	8
2	2	1 5
100 100	10 10	1 1 1 1 1

※合わせると...

※ぜんぶを合わせると...

くり上がりを
書こう！

318 + 225 =

筆算のしかたをまとめよう

1
318
+ 225
3

8 + 5 = 13

の位をたす

1
318
+ 225
43

1 + 1 + 1 + 2 = 4

の位をたす

318
+ 225
543

3 + 2 = 5

の位をたす

学習して分かったことや見つけたこと、おもしろい!と思ったことなどを書こう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆たし算とひき算（教科書 P34～P37）

- ・「3けた+3けた」に初めてふれる場面です。「前と同じだ!」や「ここはちがうね。」など、これまでの学習と結び付けながら考えていたら素晴らしいです。

【理科】

＜学習内容＞

◆「チョウの育ち方」（教科書 28～29 ページ）を見て、チョウの育ち方について考えましょう。

① 教科書 28 ページのアゲハのたまごやよう虫を見て、モンシロチョウとくらべ、にているところやちがうところを見つけ、取組シートやノートに書きましょう。

※色、形はどうかな。

② モンシロチョウが大きなよう虫から、さなぎになるまでのようすについて、教科書 29 ページの写真をみて、さなぎのじっさいの大きさをじょうぎではかったり、色や形を調べたりして、取組シートやノートに書きましょう。

※色、形、大きさはどのように変わったかな。

※教科書 29 ページの記録カードのように書けるかな。

※写真のそばにある  の中のシルエットの大きさをはかってみよう。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School 「アゲハチョウのたまご」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005401006_00000&p=box



NHK for School 「アゲハチョウのよう虫」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005401007_00000&p=box

NHK for School 「モンシロチョウの育ち方」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301601_00000&p=box



※教科書 176 ページのマークやアドレスからも動画が見られます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、モンシロチョウの幼虫がさなぎとなり、色、形を変えながら羽化に向けて育っていくことに気付くことを大切にしています。
- ・「幼虫とさなぎは、どんなところが違うかな。」「幼虫は葉を食べるけど、さなぎはものを食べるのかな。」など、比べながら違いを見付けられるよう声をかけてあげてください。

【体育】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。

＜学習内容＞

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわ跳び」に取り組みましょう。

色々な跳び方で「前とび」をしてみましょ。跳び方を工夫するだけで、なわ跳びが楽しく、上手になりますよ。

○前とびの基本



前とびのコツは、脇をしめて手首を早く回すことです。脇に本を挟んでいるつもりで跳びましょ。また、つま先で着地すると上手に跳ぶことができます。30秒で70回程度跳べるようになると二重跳びができるようになると言われているので頑張りましょ。

○ベル・スキー



ベルは前後にスキーは左右に跳びます。

○グーチョキパー



前とびをしながら、グーチョキパーで着地をします。

○ケンケン



前とびをしながら、ケンケンをします。左右どちらでもできるようにましょ。

※余裕があれば「後ろとび」など、他の跳び方にも挑戦してみましょ。くり返し取り組みると、じょうずになりますよ。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・跳んだ回数を数えてあげたり、こつをうまく生かして跳んでいる姿を褒めてあげたりして、継続して取り組む意欲へとつながるよう声をかけてあげてください。